

市民スケート大会のようす

答 小中学校連携の強化と、一貫教育の研究を進める。

問 「土曜日学校」を開催してはどうか。(宮田)

答 策定中の市教育振興基本計画の中で検討する。

問 教育委員の増員と公募についての考えは。(宮田)

答 国の動向を見て検討する。

問 教育振興審議会の事務局説明時間を資料の事前配布などにより削減させ、審議時間を多くとる工夫を。(宮田)

答 そのように進めていく。

◆スケートの振興について

問 スケート施設の利用料金補助の考えはあるか。(宮田)

答 他市をみて検討する。

◆保育所運営について

問 児童福祉法等の保育基準と保護者のニーズが合致しない。入所相談等、保護者に寄り添った姿勢で解決策を見出す努力をすべきでは。(中村)



定数減の吉田原保育園

答 保育園等で多くの相談をいただいている。保護者の希望と法や制度の意図することが乖離している実態を把握した上で対応しない限り、理解協力は得られないので、十分配慮をしたい。

◆吉田原保育園の定員

問 平成22年、社会福祉法人立の保育園参入の際、改築予定の吉田原保育園の定員60名の定員計画に多くの異論があり、問題は棚上げされたはずだ。平成27年の定員計画はどのような検討をし、元通りの60名となったのか。(中村)

答 吉田地区の年少人口は平成27年度以降は大幅に減少に転じ、吉田地区2園で保育需要に応えられる計画だ。



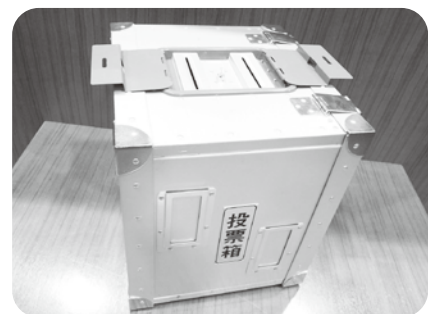
成人式でも選挙啓発が行われる

協働のまちづくりを進める

◆若者の投票率向上を

問 7月の参議院選挙において20代30代の投票率向上のための取り組みは。(金子)

答 選挙中の啓発として、明るい選挙推進協議会による駅前や大型店舗前での投票呼びかけを行っている。7月の参議院選挙では、Jリーグ松本山雅FCのホームゲームにおいて、他市選管と協力してアルウィン入場者への投票呼びかけを行った。また、小中学校、高校の児童・生徒会役員選挙の際には、実物の投票箱や記載台を貸し出し、将来的に選挙を身近に感じてもらおう



投票箱

取り組みを進めている。

問 先の参議院選挙の塩尻市年代別投票率は。(金子)

答 全体の投票率が54.6%。70代以上56.2%、60代66.4%、50代62.4%、40代52.9%、30代45.9%、20代33.7%である。

問 期日前投票所をショッピングセンターなどへ設置できないか。(金子)

答 現在3カ所の施設に設置しているが、投票しやすい環境づくりを研究していく。

問 教育界出身の選挙管理委員長として、小・中学校での主権者教育の必要性をどのように考えているか。(金子)

答 主権者教育は必要と考えている。子どもたちには、選挙の意義や重要性を理解し、社会の一員であり主権者であるという自覚を早く持つてほしい。良識ある有権者として